

みんなでつくる「教育の町いわみ」を目指して 岩美町教育長に寺西健一氏就任

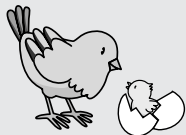


前大黒教育長の任期満了に伴い、10月1日開催された臨時町議会の同意を得て、10月14日寺西健一氏が教育長に任命されました。
『教育のまちいわみ』のリーダーとして今後の活躍が期待されます。

寺西教育長に聞きました

『教育とは・・・』
そつたくどうじ
教育の原点は **啐啄同時**

子どもはもともと力を持っている
それをどうまわりの大人が引き出し
ていくか



啐啄の「啐（そつ）」は
鶏の卵がふ化する時、卵
の中の雛が殻を破って
出ようと内側からやわらかいくちばしで
つつくことをさします。「啄（たく）」は、
その時、親鶏が外からたくましくくちばし
で殻を突き破ることをいいます。このよう
に、子どもはもともと力を持っているの
で、それをまわりの大人が上手く引き出し
てやれば、教育は開花します。岩美町の教
育が開花するよう、私達大人は子どもたち
をサポートしていきましょう。

就任にあたって

こんにちは。このたび岩美町教育長に就任しました寺西です。
私は、基本的には前大黒教育長がされてきたことを大切に、
まずは、重要な教育環境である岩美中学校と給食センターの完成
を目指します。

教育委員会が所管させていただいているのは、自然、文化財、
文化等ありますが、基本は『人』です。岩美町は『みんなでつく
る教育のまちいわみ』であることを掲げていますが、この『みん
なでつくる』というのが、何よりのキーワードなのです。教育委
員会だけでも、先生だけでも教育はできません。保護者をはじめ、
町内の方はもちろん、町外の方も含めて多くの方の力がなければ、
本当の教育はできません。魯迅の言葉「もともと地上に道はない。
歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」というように、多く
のみなさんと共に歩み、『教育のまちいわみ』の道をつくりあげて
いきたいと思います。

子どもは未来から来た留学生。今の教育は、10年20年経ってか
ら芽が出てきます。現場の先生には大変多忙な中でも、目の前の
子どもを心の中までしっかり見つめていただくこと、保護者の皆
様には、基本的な生活習慣を整えていくこと等のご協力をお願い
し、私も教育長として岩美町の教育のために精一杯がんばります
ので、よろしくお願いします。



3期12年岩美町の教育のためにありがとうございました



大黒啓之教育長退任

大黒啓之教育長が、3期12年任期満了にて10月13日退任されました。

大黒教育長はこの12年間の間に、岩美南小学校、岩美中学校及び給食センター建設等大変大きな事業に携わられました。特に給食センターについては、予期せぬ火災となり大変な事態になったにもかかわらず、迅速に再建に努められました。再建にあたっては「より安全に、より確実に、子どもたちに給食を届けたい」と引き続き直営とすることにこだわられ、実現されました。

また、特色ある学校作りのため各小・中学校に対し100万円を支給、30人学級を町独自で小学校3年生、中学校1、2年生に対しても行うなど、教育環境を整えることにも努められました。

最後まで岩美町の教育のためにご尽力いただきました。ありがとうございました。



・大黒教育長あいさつ・

私は、昭和33年統合岩美中学校が創立されました時に、岩美中講師として教員の道を歩み始めさせていただいてから、最後に岩美中学校で定年退職させていただくまでの38年間、そして教育長として3期12年間、計50年間にわたりまして心をときめかせながら『教育』に関わらせていただきました。

皆様にご指導ご支援をいただきながら『教育にどっぷりつかって50年』、とてもいい人生を歩ませていただいたと感謝もしております。「教育のまちいわみ」構築に取り組みさせていただいたこと、岩美中学校新築業務等に携わらせていただいたことは、誠に光栄であり、一つ一つが終生忘れぬ貴重な宝物でございます。町民の皆様をはじめ、ご支援ご協力いただいた皆様に対し、改めて厚くお礼申し上げます。



町長より感謝状が贈られました